

地震セミナーを山口県山口市で初開催

～「能登と日向灘に学び大規模地震に備える」と題して、名古屋大学・福和名誉教授が講演～

日本損害保険協会山口損保会（会長：上野 里美・東京海上日動火災保険株式会社 理事 山口支店長）は、以下のとおり、12月16日（月）に山口市のKDDI 維新ホールで地震セミナーを開催しました。

冒頭、上野会長から、「南海トラフ地震が発生した場合には山口県でも被害が発生することが想定されています。この機会に山口県の地震リスクを学び、災害への備えを確認してみてください。代理店の皆さまには大切なお客さまの生活を地震災害から守るために、ぜひ火災保険をご契約のお客さまに地震保険の付帯をお勧めしてください。」と開会挨拶がありました。

講演では、あいち・なごや強靱化共創センター長で名古屋大学の福和 伸夫 名誉教授が「能登と日向灘に学び大規模地震に備える」と題する講演を行いました。福和名誉教授から、災害と歴史の転換および能登半島地震と南海トラフ地震の類似、地形・利便性と災害の関係と団扇を使用した建物の幅と高さによる揺れの違いなどについて説明がありました。次いで、福和名誉教授と参加者との間で、「小学校の児童への地震によるリスクの伝え方」などについて、活発な質疑応答がありました。最後に、山口県損害保険代理業協会・宮下会長から閉会挨拶がありました。

参加者からは、「山口県の地震リスクをお客様に話せるようにしていきたい」、「防災に対する対応の必要性を今まで以上に感じた」、「危険を危険と感じる感性をみがきたい」等など感想が寄せられました。

当支部では、引き続き、地震リスクの啓発に向けた取組みを推進していきます。

【開催概要】

日 時：2024年12月16日（月）15:00～16:50
場 所：KDDI 維新ホール 会議室 205
共 催：日本損害保険協会山口損保会・山口県損害保険代理業協会
参加人数：約40人



福和名誉教授の講演



山口損保会・上野会長の開会挨拶



山口県損害保険代理業協会・宮下会長の閉会挨拶



会場の様子